

道徳だより

東松山市立白山中学校
道徳主任：三浦 祐司
10月号

* 浅見先生の講演のまとめ① *

教科化されて変わること

- ①検定教科書が導入される
→主たる教材として教科書の教材が活用される。
- ②道徳科における生徒の評価を行う
→道徳科の授業における生徒の学習状況や成長の様子を見取る。

～教科化されてどうなるの？～

教科化されても変わらないこと

- ①道徳教育は全教育活動を通じて行う
→道徳的価値については、学校教育全体を通じて指導していく。
- ②道徳科の授業は年間 35 時間以上行う
→道徳教育の要として、補充・深化・統合の役割を果たす。
- ③道徳性を養うことを目標とする。

教科化で求められていること

- ①豊かな情操と道徳心（豊かな心）を培うこと
→知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むこと。
- ②未来を見据え、これからの時代に必要な資質・能力を育成すること
→生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を育成する。
- ③様々な教育課題への対応
→いじめ問題や情報モラルに関する指導などの現代的な課題に対してその解決に寄与する意欲や態度を育てる。
- ④道徳科の授業の量的確保 → 授業を継続的に行う。
- ⑤道徳科の授業の質的転換 → 「考え、議論する道徳」の授業を展開する。

* 教科書決定！ * ～立ち読み歓迎♪～

来年度から使用する道徳の教科書が決定しました。いよいよ始まりますが、何を準備していいかわからないといったところですよ。そんなあなたに朗報です！なんと見本の教科書が届きました！！来年は指導方法がなんだ、評価がなんだと言われておりますが、まずはどんな教材たちがあるのか、これを確認することが1番ではないでしょうか。ということで、右に記したように、職員室後方の印刷用紙の左側に、教科書を置かせていただきました。ぜひ一度、手に取ってご確認ください。

教科書の扱いは、他教科と同様で主たる教材というイメージだそうです。計画の段階で、効果的かつ必要があると思われる、よく検討をした上で、他の資料を補うということもできます。そのためにも、まずは教科書を見ておかないと～～～っ (><;) とも言えます。

